



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本化学産業株式会社

コード番号 4094 URL <http://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 百瀬 謙

TEL 03-3873-9223

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,967	△18.2	812	△36.9	890	△34.5	710	△6.4
24年3月期第2四半期	10,958	△14.0	1,286	△25.2	1,360	△23.4	759	△25.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 581百万円 (△5.7%) 24年3月期第2四半期 616百万円 (△25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	35.89	—
24年3月期第2四半期	38.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	29,083	24,102	82.9	1,216.15
24年3月期	28,802	23,659	82.1	1,196.02

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 24,102百万円 24年3月期 23,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,070	△13.0	1,560	△20.9	1,680	△21.1	1,400	2.3	70.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,680,000 株	24年3月期	20,680,000 株
25年3月期2Q	861,225 株	24年3月期	897,814 株
25年3月期2Q	19,798,429 株	24年3月期2Q	19,720,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要および補正予算執行の本格化、エコカー補助金等の政策効果により緩やかな回復基調にありましたが、後半には政策効果も一巡し足踏み状態となり、また欧州の債務問題に伴う海外経済の減速や円高基調の継続、情報技術関連業界の大幅な減産が見込まれる等、依然として先行きについては厳しい見通しが強まる中で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、新製品や新規用途開発品を中心に販売・生産数量の確保、新規ユーザー開拓、タイ海外子会社における大規模洪水からの早期復旧、価格競争力を増すための全社挙げての低コスト体質強化に努めました。しかしながら当第2四半期の当社グループ全体の売上高は、主力の薬品事業が、前期の東京電力原子力発電所事故後の納入先の複数購買化の動き、情報技術関連製品の納入先企業の需要減、タイの海外子会社の洪水被害による生産・納入停止の影響が期の前半まで残ったこと等による数量面での減と非鉄金属相場下落に伴う納入価格ダウン等の売価面での減等に伴い、売上高が前年同四半期比大幅な減少となり、また、建材部門の売上高は住宅ローン減税や政府の住宅購入支援策等を背景に堅調に推移したものの、主要納入先の着工戸数減少もあり、前年同四半期比で若干ながら低下したことから、グループ全体としては前年同四半期比1,991百万円18.2%減の8,967百万円となりました。

利益面では、薬品部門における更なる安価原料、リサイクル原料の活用拡大等低コスト体質の強化に努めましたが、減収および生産数量減に伴う固定費負担の増加、上記非鉄金属相場下落に伴う原価に先行した売価低落、上記海外子会社の営業損失等により、営業利益は前年同四半期比474百万円36.9%減の812百万円となりました。経常利益は前年同四半期比469百万円34.5%減の890百万円、四半期純利益は、前年同四半期に計上した東京電力福島第一・第二原子力発電所事故関係の災害損失や投資有価証券評価損等特別損失が減少し、東京電力原子力発電所事故に伴う損害補償金284百万円を特別利益に計上したこともあり、前年同四半期比48百万円6.4%減の710百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、売上減に伴い売上債権が減少したものの、現金および預金が増加したことから、前連結会計年度末比18百万円増の19,445百万円となりました。

また、固定資産は、有形固定資産が海外子会社増資に伴う設備投資を進めたこと等により前連結会計年度末比257百万円増の5,738百万円となり、また投資その他の資産は株式市場の低迷に伴う株価の下落等により投資有価証券が減少したものの、前期に期間満了した従業員に対する福利厚生傷害保険を現状に合わせ再加入したことにより保険積立金が増加し前連結会計年度末比7百万円増の3,876百万円となったことから、全体では前連結会計年度末比262百万円増の9,638百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、281百万円増の29,083百万円となりました。一方、負債は、流動負債が生産数量減少による仕入債務減により、前連結会計年度末比70百万円減の4,340百万円となり、固定負債は前連結会計年度末比90百万円減の640百万円となりました。また、純資産が利益剰余金の増加により前連結会計年度末比442百万円増となったため24,102百万円となり、自己資本比率は前年度末の82.1%から82.9%になりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローで1,366百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローで757百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローで9百万円増加し、この結果、当第2四半期連結累計期間末は、前連結会計年度末に比べ624百万円増加し、8,837百万円となりました。また、前年同四半期比では1,844百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、1,366百万円の増加(前年同四半期は906百万円の資金の増加)となりました。この主な要因は、法人税等の支払額433百万円、仕入債務の減少額288百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,142百万円、売上債権の減少額678百万円、減価償却費378百万円等に加え、その他として補償金の受取額284百万円により資金が増加したことであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、757百万円の減少(前年同四半期は627百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が506百万円、保険積立金の積立による支出が178百万円あったこと等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、9百万円の増加(前年同四半期は71百万円の資金の減少)となりました。この主な要因は、配当金の支払額が157百万円あったものの、短期借入金の純増額が164百万円あったこと等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表しました連結業績予想を、当第2四半期連結累計期間の業績及び第3、第4四半期に於ける円高の継続、欧州の債務問題の再燃等の事業環境に加えタイの連結対象子会社における納入先との品質面での課題の発生と解消への取り組み状況等を考慮し、修正いたしております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,513,481	9,137,860
受取手形及び売掛金	6,591,519	5,913,537
商品及び製品	1,082,312	1,088,837
仕掛品	1,004,348	1,099,475
原材料及び貯蔵品	1,933,025	1,931,152
繰延税金資産	198,554	219,909
その他	105,081	56,035
貸倒引当金	△2,040	△1,730
流動資産合計	19,426,282	19,445,079
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,707,123	1,765,420
その他(純額)	3,774,212	3,973,234
有形固定資産合計	5,481,336	5,738,655
無形固定資産		
	25,564	23,530
投資その他の資産		
投資有価証券	1,672,510	1,447,540
その他	2,198,443	2,430,717
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	3,869,383	3,876,687
固定資産合計	9,376,283	9,638,874
資産合計	28,802,566	29,083,953
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,928	2,100,889
短期借入金	596,496	760,896
未払法人税等	433,841	453,362
賞与引当金	320,000	315,000
役員賞与引当金	25,000	15,000
災害損失引当金	19,709	9,219
その他	627,484	686,452
流動負債合計	4,411,461	4,340,820
固定負債		
繰延税金負債	172,478	132,549
退職給付引当金	313,780	305,553
環境対策引当金	9,532	9,532
資産除去債務	107,930	109,149
その他	127,445	83,675
固定負債合計	731,167	640,460
負債合計	5,142,628	4,981,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	560,441	565,825
利益剰余金	22,663,235	23,215,611
自己株式	△358,400	△344,003
株主資本合計	23,899,277	24,471,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,547	△59,321
為替換算調整勘定	△320,886	△309,438
その他の包括利益累計額合計	△239,339	△368,760
純資産合計	23,659,938	24,102,673
負債純資産合計	28,802,566	29,083,953

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,958,923	8,967,057
売上原価	8,574,577	7,043,894
売上総利益	2,384,345	1,923,162
販売費及び一般管理費	1,098,176	1,111,115
営業利益	1,286,168	812,047
営業外収益		
受取利息	9,978	6,071
受取配当金	22,688	20,668
不動産賃貸料	16,489	15,440
補助金収入	16,934	34,966
その他	25,659	21,510
営業外収益合計	91,750	98,656
営業外費用		
支払利息	6,060	7,021
売上割引	5,440	6,482
賃貸収入原価	5,595	5,211
その他	28	1,150
営業外費用合計	17,124	19,866
経常利益	1,360,794	890,837
特別利益		
固定資産売却益	210	853
受取補償金	—	284,426
特別利益合計	210	285,280
特別損失		
固定資産除却損	9,056	5,413
投資有価証券評価損	53,716	17,900
災害による損失	51,701	10,183
特別損失合計	114,473	33,496
税金等調整前四半期純利益	1,246,530	1,142,621
法人税等	486,952	431,988
少数株主損益調整前四半期純利益	759,578	710,633
四半期純利益	759,578	710,633

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	759,578	710,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,943	△140,869
為替換算調整勘定	△36,977	11,447
その他の包括利益合計	△142,921	△129,421
四半期包括利益	616,657	581,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616,657	581,212
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,246,530	1,142,621
減価償却費	478,014	378,116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,938	△101
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,000	△5,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,500	△10,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,130	△8,252
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△50,344	△10,515
固定資産除却損	9,056	5,413
固定資産売却損益(△は益)	△210	△853
投資有価証券評価損益(△は益)	53,716	17,900
受取利息及び受取配当金	△32,667	△26,739
支払利息	6,060	7,021
受取補償金	—	△284,426
災害損失	—	734
売上債権の増減額(△は増加)	1,058,550	678,076
たな卸資産の増減額(△は増加)	△690,185	△99,519
仕入債務の増減額(△は減少)	△339,788	△288,141
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,136	△22,225
その他	22,097	23,197
小計	1,683,397	1,497,306
利息及び配当金の受取額	31,389	26,739
利息の支払額	△6,060	△7,021
法人税等の支払額	△801,869	△433,864
補償金の受取額	—	284,426
災害損失の支払額	—	△734
営業活動によるキャッシュ・フロー	906,857	1,366,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	800,000	1,300,000
定期預金の預入による支出	△800,000	△1,300,000
有形固定資産の取得による支出	△569,687	△506,851
有形固定資産の売却による収入	430	1,014
無形固定資産の取得による支出	△3,611	—
投資有価証券の取得による支出	△794	△10,656
生命保険積立金の積立による支出	△29,745	△18,736
保険積立金の積立による支出	—	△178,949
その他	△24,088	△43,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△627,497	△757,874

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	755,000	824,400
短期借入金の返済による支出	△659,000	△660,000
差入保証金の回収による収入	—	39,674
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△31,052	△57,154
自己株式の取得による支出	△242	△781
自己株式の売却による収入	20,258	20,562
配当金の支払額	△156,894	△157,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,932	9,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,521	6,097
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	193,907	624,379
現金及び現金同等物の期首残高	6,799,293	8,213,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,993,200	8,837,860

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円：千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,494,870	1,464,052	10,958,923	—	10,958,923
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,494,870	1,464,052	10,958,923	—	10,958,923
セグメント利益	1,102,325	394,730	1,497,055	△210,887	1,286,168

(注) 1.セグメント利益の調整額△210,887千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位千円：千円未満切り捨て)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,547,913	1,419,143	8,967,057	—	8,967,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,547,913	1,419,143	8,967,057	—	8,967,057
セグメント利益	630,651	411,361	1,042,013	△229,965	812,047

(注) 1.セグメント利益の調整額△229,965千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

タイの連結子会社であるネクサス・エレケミック社及びサイアム・エヌケーエス社は、昨年10月に発生した洪水により被災しましたが、付保していた損害保険の受取額が確定し入金されていることにより、当連結会計年度において、保険金の受取りによる収入111,292千円を計上する予定です。

なお、保険金受取額は、ネクサス・エレケミック社が39,463千パーツ(99,054千円)、サイアム・エヌケーエス社が4,875千パーツ(12,238千円)であります。また、既受取分を含めると、受取総額は、ネクサス・エレケミック社が79,463千パーツ(199,454千円)、サイアム・エヌケーエス社が13,158千パーツ(33,027千円)であります。